

# データ戦略タスクフォース第一次とりまとめの概要

## データ戦略のアーキテクチャ

### ビジョン

現実空間とサイバー空間が高度に融合したシステム（デジタルツイン）により、新たな価値を創出する人間中心の社会

### 戦略・政策

#### 組織

行政  
民間

#### ルール

データ  
ガバナンス  
連携  
ルール

#### 連携基盤 (ツール)

#### データ

#### 利活用環境

#### インフラ

- 理念：信頼（トラスト）と公益性の確保を通じて、データを安心して効率的に使える仕組みを構築する
- データ活用の原則 自分で決められる、勝手に使われない つながる いつでもどこでもすぐに使える 安心して使える みんなで創る

### 社会実装・業務改革

#### 組織・ビジネスでの取組

いかなる価値を誰に対して生み出すか、国民・行政・産業界のユーザー視点からニーズ分析を行い、デジタルツインの視点でビジネスプロセスをゼロベースで見直す

データがつながることで「新たな価値を創出」

行政

重点的に

取組むべき分野

民間

ワンストップ、ワンズオンリー データ流通、官民データ活用

### 喫緊に取組むこと

#### トラストの枠組みの整備

IDの認証やトラストサービスの評価などトラストアンカーの機能整備の他、誰が(主体・意思)、何を(事実・情報)、いつ(時刻)というトラストの要素について、これらが主張されたとおりのものであること(真正性)、改ざんされていないこと(完全性)の確保・証明が必要である。以下のように整理し、各々の論点を整理(論点例:本人確認レベル、発行した自然人、組織、機器の確認方法)

- ・ 主体・意思: 意思表示の証明(意思表示が本人によってなされたものであること等の証明)
- ・ 事実・情報: 発行元証明(発行した自然人、組織、機器が信頼できるか等の証明)
- ・ 存在・時刻: 存在証明(何らかの情報がある時点において存在し、それ以降は改ざんされていないことの証明)

→ 整理した論点について、関係省庁で解決の方向性を検討開始

#### プラットフォーム

#### 分野横断で検討すべき共通項目

- ・ 共通アーキテクチャの整備(スマートシティリファレンスアーキテクチャ)
- ・ データ連携の共通ルールの整備\*1
- ・ 主要データ標準、データ品質管理フレームワークの策定
- ・ 分野間データ連携基盤でのツール開発(データカタログ検索、データ交換、データ連携契約機能)(分野間連携のための民間促進団体DATA-EXによるポータルサイト運営)

\*1 データ提供主体/データの真正性、データの取扱いに係る契約ひな形、パーソナルデータの取扱い、データ交換のための標準化、データの品質の考え方

#### 分野ごとに検討すべき項目

- 重点的に取組むべき分野の関係省庁を中心に、官民共同での検討の場を設け、プラットフォームの在り方についてデジタル庁(仮称)発足までに整理(健康・医療、教育、防災、農業、インフラ、スマートシティ等)
- ・ 関係者のニーズ分析: データを中核とした新たな価値創出のための分析
- ・ アーキテクチャの策定: スマートシティリファレンスアーキテクチャを参照
- ・ ルールの具体化、ツール開発(データカタログ、メタデータ、APIの整備等)

#### データ整備

#### ベース・レジストリ整備の推進(ベース・レジストリ・ロードマップの策定)

- ・ ベース・レジストリ\*1の選定
  - 選定基準\*2
  - 重点整備対象候補\*3
- ・ ベース・レジストリの推進方法
  - 優先順位に従い段階的に導入
  - 成功事例をつくり効果や課題を明確化
- ・ アクション
  - ベース・レジストリの指定(内閣官房IT室: 2021年3月末)
  - データ整備: 先行プロジェクトの実施(住所や法人情報等)
  - 主要データ標準の整備、データ品質管理フレームワークによる評価(内閣官房IT室: 2021年3月末)

→ 重点整備対象候補のデータホルダーの関係省庁にて、2021年6月末までに課題整理と解決の方向性を検討

\*1 公的機関等で登録・公開され、様々な場面で参照される人、法人、土地、建物、資格等の社会の基本データ

\*2 多くの手続で使われるデータ、災害時に重要なデータ、社会的・経済的な効果が大きいデータ

\*3 個人(マイナンバー含む)、法人、文字、不動産、住所、法律、制度、資格、公共施設、インフラ等を想定

#### その他基盤データの整備の推進

- ・ 特定分野などで社会の基盤として扱われるデータの整備を促進

#### オープンデータの推進

- ・ オープンデータ基本指針の改定による機械判読性の強化

#### 包括的なデータマネジメントの推進

- ・ 主要データ標準、データ品質管理フレームワーク等の活用

### 引き続き検討すべき事項

<国際連携><人材><デジタル庁(仮称)の役割>

データ利活用の環境整備(データ流通市場の活性化等)

デジタルインフラの整備・拡充

国際連携

人材

データ整備方針等へのデータ戦略の反映